

生産ライン向けレーザー樹脂溶着システム コンパクトで経済的: LPKF InlineWeld 6200

- 生産ラインに直接組み込み可能な溶着ヘッド
- Industry 4.0 対応 ProfiNet インタフェース
- 驚きのレーザーパワー
- 高い費用対効果の実現
- レーザークラス1 (レーザー安全ガラスを取り付けた場合)



LPKF
Laser & Electronics

パワフル、効率的、コンパクト

LPKF レーザー溶着システム InlineWeld シリーズはすでに世界中の多くの生産ラインで稼働しています。LPKF InlineWeld 6200 は初めて発売された新エコノミークラス生産ライン組み込みシステムです。レーザー樹脂溶着は今後さらに幅広い用途で魅力的な溶着工法となることでしょう。

LPKF InlineWeld シリーズのモジュール構造により、様々なビジネス領域における生産ラインにレーザー樹脂溶着を直接、簡単に組み込むことができます。モジュール化されたことにより、レーザーヘッドに必要なスペースは小さくなるだけでなく、プロセスに必要なすべての機能がシステムに組み込まれます。

新世代の組み込みシステムは新しいマシンレイアウトが特長ですが、それは外観だけではありません。最新の部品で作られた装置によってコスト低減とパフォーマンスの向上が実現します。

溶着エリアは 100 mm x 100 mm。システムはレーザー保護条件を満たせば、生産稼働中でもレーザークラス1同等となります。さらに、クランプテクノロジー、シリンダーユニットと部品ホルダーのすべてには安全センサーが取り付けられています。これによりEN-ISO 11553に対応した生産ラインの構築が大変容易になりました。

パワフルなレーザーシステムにはパワフルなソフトウェアが必要。InlineWeld 6200 は LPKF CAM ソフトウェア ProSeT とともに供給されます。これにより溶着線を早く簡単にセットアップできます。

ProfiNet インターフェースでお客様自身の生産実行システム(MES)に接続できます。InlineWeld 6200 がプロセスデータを認識し、実際に溶着プロセスに必要な値(例えば、品質保証に必要な沈み込み量/時間データなど)を供給します。完璧なプロセス制御と監視が、お客様の持つより高い水準での中央制御システムによってコントロールされます。分離された LPKF インターフェースボックスがあれば、お客様のMESに接続することなくプロセスデータやシステムパラメーターをセットアップし、生産ラインに組み込んだ後も InlineWeld 6200 を個別に稼働することも可能です。

関連するインテグレーションと制御が整えば、高いレベルで多様で早いサイクルを実現する生産のための、効率的なソリューションとなるでしょう。

技術データ	LPKF InlineWeld 6200	ファイフォーカスバージョン
レーザークラス	1 (レーザー安全ガラスを取り付けた場合)	
レーザーパワー/スポット径	Max. 200 W / 1.8 mm 又は 2.1 mm	140 W / 0.75 mm - 1.8mm
クランプ圧力	580 N - 1750 N	
最大溶着エリア	100 mm x 100 mm	
溶着ヘッド寸法 (W x H x D)	400 mm x 450 mm x 1300 mm	
コントロールユニット寸法 (W x H x D)	950 mm x 600 mm x 1350 mm	
電源	400 V, 16 A, max. 3 kW	
エア	4.5 bar - 10 bar	
使用環境温度	18 °C - 35 °C	
オプション	リモートメンテナンスモジュール、インターフェースボックス	

LPKF Laser & Electronics 株式会社 〒273-0012 千葉県船橋市浜町2丁目1-1 ららぽーと三井ビルディング8F
Phone +81 (0) 47 432 5100 info.japan@lpkf.com http://jp.lpkf.com

© LPKF Laser & Electronics 株式会社は、予告なく使用および製品情報を変更する場合があります。